

大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会
平成 30 年度第 1 回 議事録

日 時 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 13:30~14:30

場 所 本校 応接室

出席者 秋山委員、浦西委員、岡委員、湯峯委員、安岡委員 (順不同)

(学校) 濱本校長、中村教頭、林首席、森岡首席、斎藤事務長、富田書記

1 校長あいさつ

- ・ USB メモリ紛失の件では、ご心配をおかけしました。(生徒・保護者への謝罪報告)
- ・ 協議会から運営協議会への移行の説明

2 運営協議委員紹介 (校長)、事務局自己紹介

(欠席) 植野委員

3 委嘱状手交

4 学校運営協議会実施要項について

- ・ 任期は 2 年
- ・ 守秘義務
- ・ 過半数以上出席
- ・ 協議内容について
- ・ 議事録は HP に掲載

5 会長・副会長の選出 選出議長として、浦西委員

- ・ 立候補者なし
- ・ 互選で選出

○従来の流れもあり、座長は学識経験の方が、よいのではないか
⇒ 大学教授の湯峯先生を選出、同意をいただく

(会長) 湯峯委員 (副会長) 浦西委員 (以上を決定)

6 協議

I 今年度の学校経営計画について

○H29 年度の協議会から

- ・ 中学生に選ばれるため、本校の特色を前面に出す
- ・ 新指導要領を見据えた取組みの基本方針
- ・ ビジネス情報コースについて
プログラミング等はどうかなどアドバイスをいただいたが、
コース選択生徒減少 ⇒ 検討中
- ・ 自転車のマナーについて 自転車事故やマナー苦情等が絶えない現状から

○確かな学力

- ① 授業力向上支援チームを核に、組織的な取り組みを進める
 - ・ わかる授業
 - ・ AL 型授業
 - ・ ICT の活用 (電子黒板 1 学年分が揃い、来年度は全 HR 教室に配備したい)
- ② 観点別評価 (新学習指導要領への対応として)
 - ・ 知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性
⇒ 中学校の取組みの経験を参考に研修を実施予定。しっかりと準備をしていく。
- ③ 講習は、手厚く実施している。更に、生徒個々のニーズ叶う内容で実施する

○ビジネス情報コース

- ・ 現 2 年生は希望者が少かった (生徒のニーズ把握やアピールが不足)
⇒ 今年度内に、今後のあり方について検討 (進路ニーズにあった資格所得など)

○「高い志」を育み、「将来の夢」を実現

- ① 3年間を通じた志学、キャリア教育、人権教育を連動させたプログラムの実行
- ② 希望進路を実現する組織的・計画的な進路指導を（講習、面接指導、進路個人カードの活用、JAPAN e-Portfolio）

○豊かな心の育成、自主性と規範意識の醸成

- ① 生活面に関して自身で判断できる力を育成する。
 - ・ 昨年の遅刻者増 ⇒ 生活習慣を確立させる為、遅刻者の減に取り組む。
 - ・ 自転車マナーについて ⇒ 警察と連携して効果的な指導を行う。
- ② 生徒の自主活動を通じて自己肯定感を育み、連帯意識や公共精神を培う。
 - ・ 運動部の加入率は50%の壁
 - ・ 今年の1年生は、部活動加入者数が多く、期待している。
- ③ 安全・安心の学校生活を
 - ・ SCや保護者の方との連携を行う。

○総合的な学校力の向上

- ① ミドルリーダーの育成を
- ② 校内の効率化と情報共有を進め、ゆとりを生み出す。
- ③ 教育活動の積極的発信、広報活動の充実
 - ・ 中学校訪問、ビデオ・パンフ、出前授業など

(Q&A)

浦西委員 自転車事故はうちでもあったがどんな事故であったか。
⇒ 校長 事故の詳細を説明。本年度の交通安全講習について説明。

秋山委員 観点別評価について

⇒ 校長 観点別評価の説明と移行期間（2022年度本格実施）について

秋山委員 客観的に評価できるのか、目標はどこになり目標に向かっていけるのか

⇒ 校長 ルーブリック評価等を用い、事前の目標を提示、授業のPDCAへ

⇒ 湯峯委員 観点別なので総合で見るのではなく、細かく目標を設定しその達成度合いを見る。

⇒ 校長 多面的な評価を行う。

⇒ 浦西委員 中学では評価基準をしっかりと決め、その達成度の積み重ねとして評価する。大変な労力が必要である。

秋山委員 能力三観点の人間性とは？

⇒ 浦西委員 現行では、関心・意欲・態度をさす。

秋山委員 評価のクレームについては？

⇒ 浦西委員 府のチャレンジテストの結果を活用して、評価の妥当性を伝える。

⇒ 湯峯委員 関心・意欲・態度も含め、学びに向かう人間性も今後議論されていく。

II 今年度の取組み等について

○進路状況について（中村）

- ・ 就職は、例年と大きな変化なし。（一次内定率は7～8割程度）
- ・ 成績上位の生徒でも就職を希望する生徒もおり、成績に応じて進路が決まるわけではない。
- ・ 入試の回数増加等の影響で一般入試でも合格者が増えてきている。
- ・ 例年1割程度が、看護・医療に進学。
- ・ 面接指導等を実施して、しっかり対策を行っている。
- ・ 就職求人 수는十分にあるが、事務職等では、必ずしも希望は通りとならない。
- ・ 国公立大学への合格は難しいのが現状、私学は近畿大に何名か通れば良い方。
- ・ 昨年度のセンター試験は5名受験。

○人材育成の取り組み（林）

①初任者教員

- ・授業力向上支援チームおよび教科指導員と研究授業・研究協議を実施。
- ・校内初任研の計画。
- ・首席と初任で相談会の時間割をつくる。
- ・中学生への出前授業に出向く。

②インターミディエイト教員

- ・授業力向上支援チームと研究授業・研究協議を実施。
- ・アドバンスト教員とメンター・メンティーの関係を
- ・中学校への出前授業

③アドバンスト教員

- ・授業力向上支援チーム研究授業
- ・生徒指導部長、教務部長、学年主任、教育相談・支援委員長

（Q & A）

浦西委員 授業力向上支援チームの構成員は？
⇒林首席 初任、インターミディエイト等十数名程度で

秋山委員 他の学校でも初任者に対する研修は同様か？
⇒校長 府立校では、基本的に同様です。

○情報管理の徹底（中村）

- ・個人情報の取扱いに関する調査結果
- ・泉大津高校情報セキュリティポリシーの改定（4/19）

（Q & A）

秋山委員 校務用のパソコンは持ち帰れるのか？
⇒教頭 実質的にはありません。

・教員研修計画 7月23日（月）13:30～

③意見交換

湯峯委員 他の学校でも初任者に対する研修は同様か？
⇒校長 基本的に同様です。

湯峯委員 負担にならないか？
⇒林首席 なります。

校長 ⇒新任の先生等の支援は、困難で挫折しないかなどを心配しつつ行っている。

秋山委員 コンクリートの塀は大丈夫か？
⇒事務長 調査を依頼し教育委員会に報告をあげている、張り紙で注意喚起をした。

秋山委員 うちの博物館にも塀があり、質問等は府に聞くように答えよと指示があった。

安岡委員 専門家が調査にきたのか？
⇒事務長 様子を見にきたが、対策はまだ。今後何らかの対応があるはず。
⇒校長 予算がなかなか取れないので全ての場所で即時対応は難しいだろう。

7 その他